

特講・福祉心理学 4 (スクール・カウンセリング)	単位数	履修方法	配当年次
	1	S	1 年以上
科目コード	FT2604	担当教員	中村 恵子

※オンデマンド・スクーリングは別教員（萩原豪人先生）が担当いたします。萩原豪人先生の講義概要は、『試験・スクーリング情報ブック』5部をご参照ください。

※この科目は①5/27・28の仙台の会場スクーリング（履修登録・申込締切：4/30）、②オンデマンド・スクーリング（履修登録・申込締切：11/12）のいずれかの受講が必須です。①②どちらの方法で受講する場合も、履修登録・申込締切日までに、履修登録とスクーリングの申込みが必要です。

■スクーリングで学んでほしいこと

教育臨床での専門職は、いまや教師だけでなくスクールカウンセラー、支援員、相談員、スクールソーシャルワーカーと多様化し、そのチーム援助が求められる時代になりました。本講義では、子どもの学校適応条件を心理学の基礎理論に学び、実践的な援助技法を紹介します。チーム援助の実際を肌を感じていただけたら幸いです。

■到達目標

- 1) 傾聴技法を会話に活用できる。
- 2) 学校適応条件を説明できる。
- 3) 学校不適応の子ども援助の方法を説明できる。

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	学校カウンセリングの意義と役割	日米のスクール・カウンセリング
2	教育臨床に有効なカウンセリング技法	発話を促す基本技法
3	教育臨床に有効な集団援助技法	対人関係ゲームの理論と演習
4	学校適応に求められる要因	学校適応の条件
5	学校適応に求められる発達課題	愛着形成～嫉妬形成～母子分離
6	学校不適応の理解	不登校事例の問題分析
7	学校不適応への援助方法	不登校事例の介入計画作成
8	質疑応答	
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

チーム援助のシミュレーションを兼ねてグループで学習を進めます。

■スクーリング 評価基準

授業への参加態度30% + スクーリング試験70%（持込可，論述式）

■スクーリング時の教科書

スクーリングにあたって，教科書は使用しません。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

講義内容の関心あるテーマについて，自分なりに学びたいことを考えてきてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

下記および授業で提示される参考図書を学習してください。

■卒業までに身につけてほしい力との関連

心理実践力を身につけるため，とくに「総合的な人間理解力」「根拠に基づく情報発信力」「共感と自他尊重に基づくコミュニケーション力」「自己理解に基づくセルフコントロール力」「集団理解に基づく対人調整力」を身につけてほしい。

■参考図書

中村恵子編『学校カウンセリングー問題解決のための校内支援体制とフォーミュレーション』ナカニシヤ出版 2011年